

「通時コーパス」シンポジウム2019

Symposium on Japanese Diachronic Corpora



日時
Date

2019年 3月9日(土)

10:00~17:00

Saturday, March 9, 2019
10:00 – 17:00



場所
Venue

国立国語研究所

National Institute
for Japanese Language and Linguistics
(NINJAL)

プログラム

10:00~11:40	口頭発表	講堂
11:40~12:40	ポスター発表・デモ	2階ホール・多目的室
14:00~16:30	テーマセッション	講堂
16:30~17:00	全体討論	講堂

主催:「通時コーパスの構築と日本語史研究の新展開」プロジェクト
プロジェクトリーダー: 小木曾 智信 (国立国語研究所 言語変化研究領域)

「通時コーパス」シンポジウム 2019

2019年3月9日(土) 国立国語研究所

■ 10:00~11:40 口頭発表 (講堂)

- 小木曾智信 (国語研) 『日本語歴史コーパス』 ver. 2019.3 通時コーパス構築進捗報告
- 鴻野知暁 (東京大学) 「古代語の「形容詞+モ」に関わる構文とその機能」
- 勝又隆 (福岡教育大学) 「中古散文における「連体形+ゾ」文と連体ナリ文の用法上の差異について」
- 山崎誠 (国語研)・桂祐成 (東京電機大学) 「語誌データベースの構築と設計上の問題点」

■ 11:40~12:40 ポスター発表・デモ (2階ホール、多目的室)

- 池田來未 (お茶の水女子大学大学院生) 「複合動詞「〜ヌク」の歴史的変遷—〈完遂〉用法獲得の過程に着目して—」
- 大西拓一郎 (国語研) 「つなげる、くらべる方言分布図—方言地図データベースの活用—」
- 小椋秀樹 (立命館大学) 「近代における字音接頭辞「非・不・未・無」—『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅰ雑誌』を資料として—」
- 近藤明日子 (国語研/明治大学) 『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅲ明治初期口語資料』の構築
- 呉 寧真 (国語研/國學院大學大学院生)・池田幸恵 (中央大学)・須永哲矢 (昭和女子大学) 『日本語歴史コーパス 上代編Ⅱ宣命』の構築と公開
- 須永哲矢 (昭和女子大学), 橋本莉奈, 金澤稀愛, 江成麻子, 榎谷あやか, 榎本早紀, 藤井千里, 村田柚衣, 富田美晴, 中村日向子 (昭和女子大学学生) 「通時コーパスを利用したプロジェクト学習の実践例—敬語・古典常識の抽出と教材作成—」
- 高田智和・片山久留美・小木曾智信 (国語研)・桂祐成 (東京電機大学)・大塚靖代・ヘイミッシュ=トッド (大英図書館) 「天草版平家物語・伊曾保物語・金句集の原本画像公開」
- 高橋雄太 (国語研/明治大学大学院生)・服部紀子 (国語研) 「近代小説のコーパス化とその課題」
- 南雲千香子 (国語研)・近藤明日子 (国語研/明治大学) 『東洋学芸雑誌』コーパスの構築Ⅱ—『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅰ雑誌』での公開—
- 黄 秀智 (明治大学大学院生) 「1945年以降の韓国新聞コーパス作成—日韓外来語史の対照研究のために—」
- 松崎安子 (国語研) 『日本語歴史コーパス 和歌集編 八代集』の公開に向けて
- 間淵洋子・高田智和 (国語研) 「TEIによる近世版本の構造化」
- 村山実和子 (国語研) 『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅱ人情本』の公開に向けて
- 柳原恵津子 (国語研) 「訓点資料の形態素解析用本文作成とその意義—「西大寺本金光明最勝王経」平安初期点を用いて—」
- 山崎誠・相澤正夫・大西拓一郎・柏野和佳子・高田智和・新野直哉・間淵洋子 (国語研)・桂祐成 (東京電機大学) 「語誌データベースの試験公開」
- 劉 冠偉 (北海道大学大学院生)・池田証寿 (北海道大学) 「日本語歴史コーパス (CHJ) と平安時代漢字字書総合データベース (HDIC) との連携—観智院本類聚名義抄を例に—」

※ほか追加予定あり

■ 14:00~16:30 テーマセッション 『歴史的音源資料と日本語研究』 (講堂)

コーディネーター: 丸山岳彦 (専修大学/国語研)

発表(1) 金澤裕之 (目白大学) 「録音資料のコーパス化とその困難点」

発表(2) 相澤正夫 (国語研) 「SP 盤演説レコードがひらく音声変異研究の可能性」

発表(3) 清水康行 (日本女子大学) 「日本語史研究資料としての在欧録音資料群」

■ 16:30~17:00 全体討論 (講堂)